

ま 真室川町

議会だより

2020年10月26日

No. **152**



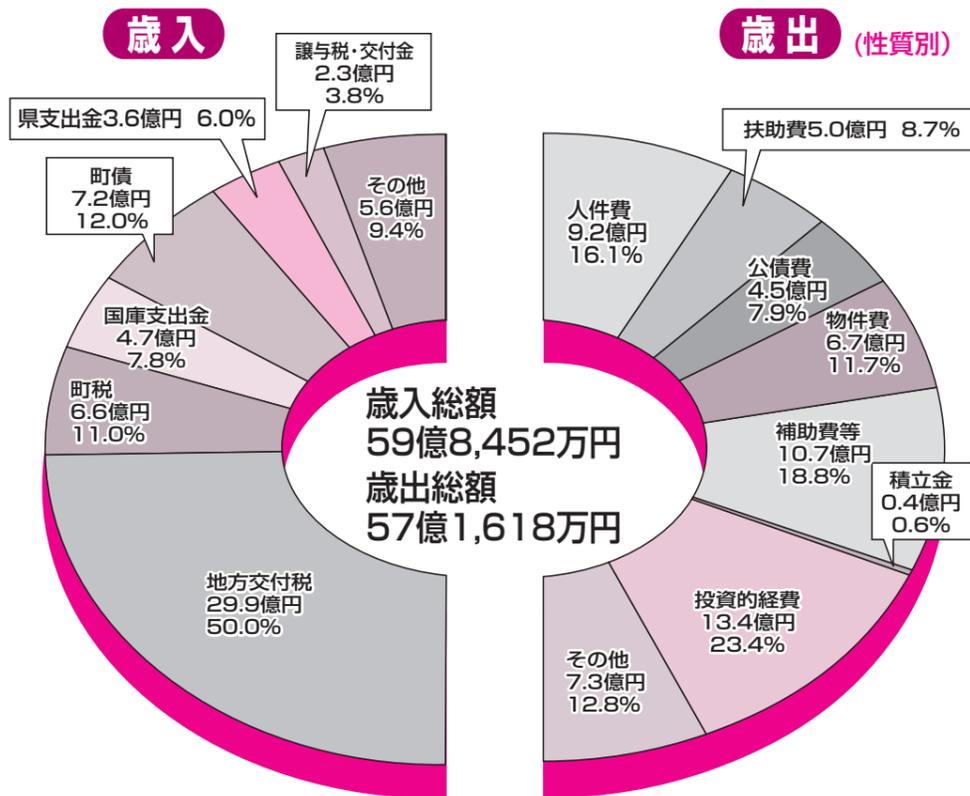
新しく整備されたグラウンドで躍動
～真室川中学校大運動会～

英検補助、公営塾に顕著な効果（決算審査）	2
ふるさと納税8,000万円の大増の見込み（議案審査）	4
一般質問（6人登壇）	5
コロナ対策などで合計約3億円の補正（第2回臨時会）	10
真室川中学校3年生が傍聴（議会傍聴）	12
議会改革調査特別委員会	14
町民の声	16

英検補助、公営塾に顕著な効果

令和元年度一般会計・特別会計 総額約90億円の決算を認定!!

一般会計の構成



質疑のあれこれ

一般会計

町財政・将来負担

大友又治委員 町の実質公債費比率と将来負担比率は、35市町村で比較しても悪くはないが、3年後から庁舎の償還が始まる。今後の動向は。

総務課長

平成30年度の実質公債費比率は県平均9%、本町では5・8%で良い方から4番目、将来負担比率は県平均59・9%、本町では0・7%で良い方から3番目。庁舎の借入償還は3年据え置き20年償還だが、償還のシミュレーションを行い計画的に償還する。

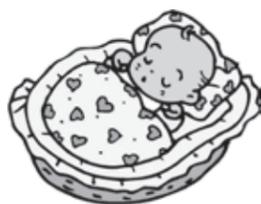
保健衛生総務費

佐藤栄子委員 妊婦検診補助金と新生児難聴

検査補助金について内容等を伺う。

福祉課長

29名の母子健康手帳交付の補助をしているところであり、新生児難聴検査補助金では27件あり、県立新庄病院にて1件7000円で行っている。この検査により難聴の早期発見が出来る。



交流促進事業費

外山正利委員

今、多くの町民が望んでいることは働く場所、住む場所である。町長は総合計画とは別に進めていくと言っているが町の移住、定住対策は具体的に進んでいるのか。

の住宅整備は厳しいものがある。家賃収入だけでは回収できない。町の財政を考えながら、6次総合計画に入れ慎重に対応していく。

農業総務費

菅原道雄委員

農業総務費の「おいしさ際立つ！米作りプロジェクト本部負担金」について取り組みとその内容について伺う。また、担い手育成費の機構集積協力金の内容についても伺う。

農林課長

このプロジェクトは、県内35市町村が参加している事業であり、効果はこれからの米作りに反映されてゆくものと考えられる。農地集積では、農事法人等で集積が行われており機構利用により農地の集積が進んでいる。単価は今年度までが高く、来年からは低い単価になる。

令和元年度 各会計歳入歳出決算状況

(単位:円)

会計	区分	歳入額	歳出額
一般会計		5,984,517,213	5,716,178,811
特別会計	国民健康保険	76,686,009	76,312,609
	後期高齢者医療	90,207,943	89,668,916
	介護保険	1,169,544,158	1,159,959,851
	病院事業	1,027,597,901	1,023,355,728
	水道事業	328,701,802	326,922,578
	公共下水道事業	114,815,689	113,573,794
	梅里苑事業	112,830,295	111,810,962
合計		8,904,901,010	8,617,783,249

災害復旧費

高橋秀則委員 大きな災害等により孤立してしまう集落がある。町として集団移転などは考えているのか。町長 今のところ、地区からそのような要望は受けていない。町内どこに住んでも郷土愛があり、そこで暮らすことに努力している。町としては、集団移転は考えたことがない。しっかりと支えていきたい。

本物教室事業

佐藤正委員 日本一の民謡歌手、町出身者による朗読の開催など、本物教室が子ども達に大きな影響があったとのことだが、今後の継続は。

教育長

生のものと接すると五感に直接に感じる本物教室を五か年振興計画の中で深めていく。新型コロナ対策をしつかり行い、九月



本物教室(日本一の民謡歌手を招いて)

に真室川中学校で野村けい子先生に講演をして頂く予定だ。

路線バス事業費

佐藤成子委員

デマンドタクシー利用状況は、町内全域、週5日に拡充したことから登録者数96人となり、利用件数(片道)103人と増加傾向にある。今後も利便性に努めていきたい。

決算審査特別委員長意見(要旨)



決算審査特別委員長 平野 勝澄

一般会計 (歳入)

町税等について、未収金対策等の強化により徴収率が前年より改善する努力のあとが伺える。使用料の収入未済額が前年に比べ減額となっており、今後も引き続き努力されたい。

(歳出)

当町の基幹産業である農林業に対して、各種補助制度をより一層活用できるように、周知に努められたい。

教育関係では、英語検定補助事業や公営塾等が子どもたちの学力向上にすでに顕著な効果を挙げられており、中長期的に効果が表れるであろう他の諸施策と併せ、引き続き推進されたい。

特別会計

水道事業特別会計において、料金引き下げ等により収益が減少した側面や、施設設備の更新が進み資本的支出の増加があるなど、引き続き厳しい側面がありつつ、漏水修理などの努力の結果、有収率が昨年度比3・9%の増となるなど、一定の改善が見られる。

町立病院事業会計は、医師確保の点で改善し、ジェネリック医薬品への転換も順調だが、利用者数減が問題となっており、原因の分析と対応が必要だ。一般会計からの繰入金が増え、計画から繰入金が増え、400万円となったことは町財政全体にとっても不安要因となりかねないものであり、病院の安定経営に引き続き努力されたい。

9月定例会

9月定例会は3日から9日までの7日間の会期で開かれ、町財政健全化比率の報告、条例改正、各会計補正予算など、町長提出案件14議案（決算の認定を除く）を慎重に審議し、それぞれ原案の通り可決されました。

◆条例・協定

選挙公営条例

大友又治議員 選挙ハガキの郵送料は今までも公費負担だった。今回の改正で作成費用は対象外か。

町民課長 印刷代は公費負担にならない。郵送料はなる。

現在と同じ。大友又治議員 供託金が没収されるのは何票か。

町民課長 現在の有権者数648人、この間の投票率80%と見込むと、有効投票総数が約5200票、議員定数11名で割り、さらに

ふるさと納税 8,000万円の大幅増の見込み インフル予防接種、全町民が補助対象に

主な歳出項目	補正額
ふるさと納税寄付金事業経費	4,000万円
戸籍法改正に伴うシステム改修	1,115万3千円
公選法改正に伴う町議選経費	849万3千円
灯油購入助成事業	225万7千円
インフルエンザ予防接種事業	365万4千円
県営ほ場整備事業分担金	3,482万5千円
栗谷沢橋架替に伴う配水管添架工事	3,440万円

町民課長 今年に入ってからさくらんぼと、例年の町の主力返礼品である米の人気の高い。他にも町の特産品をできるだけ多く活用できよう業者と連携を図っていく。

大友又治議員 今回伸びた品目と今後の意気込みは。企画課長 今年に入ってからさくらんぼと、例年の町の主力返礼品である米の人気の高い。他にも町の特産品をできるだけ多く活用できよう業者と連携を図っていく。

10で割った数となるので、だいたい50票程度。

◆一般会計補正予算 ふるさと納税寄付金

菅原道雄議員 当初予算で4200万円となっていたが大幅な増額アップの要因は。

企画課長 近々の4月～8月までに40000万円の寄付金があり、月平均1000万円となり、業者委託を行っていることから増額を見込んで8000万円の増額とした。

大友又治議員 今回伸びた品目と今後の意気込みは。

企画課長 今年に入ってからさくらんぼと、例年の町の主力返礼品である米の人気の高い。他にも町の特産品をできるだけ多く活用できよう業者と連携を図っていく。



修繕が待たれる町内の林道

道路維持修繕料

佐藤正議員 この修繕料は町道以外に使用出来ないのか。町内には町道と同様の交通利用の多い林道があり、舗装の修理が必要な所がある。林道にも修繕料の拡大ができないか。

建設課長 本件は、町道10か所予定の修繕料

である。農林課長 林道については、建設課と連携を取りながら修繕を行いたい。

インフルエンザ予防接種

外山正利議員 コロナ禍のなかで接種の希望者が増えると考えられるが、それも見込んであるか。それとも対象者の拡充だけか。

福祉課長 これまで65歳以上の高齢者や持病のある人、子どもなど対象としてきた。今回は補助対象者を拡充したものである。昨年度の高齢者の接種率は50%というところで、1625人予算

を組んだ。なお、接種希望者の割合が増えれば、補正で対応していく。

平野勝澄議員 風邪、インフルエンザ、コロナは検体を調べないと症状だけでは区別がつきにくい。インフルエンザの部分だけでも感染者をなるべく減らすことは大事になってくるのでPRにも力を入れてもらいたい。

福祉課長 県の医師会、山形県、最上保健所もごたごたして緊迫した状況。せめてインフルエンザの罹患者をできるだけ少なくするよう関係各機関ががんばっているところ。

農業所得1.3倍プロジェクト事業費

佐藤栄子議員 山形県農業所得1.3倍プロジェクト事業費補助金についてどのような農産物栽培に適用され



植栽予定の釜淵保育所園庭

たのか何う。農林課長 家族経営の菌床栽培の所得1.3倍に向けて事業計画において採択されたものであり3年計画である。

最上川さくら回廊

佐藤一廣議員 釜淵保育所園庭のさくら植栽について。また、植栽後の手入れについて何

う。

教育課長 山形新聞、山形放送の8大事業として行われたものである。今回は釜淵保育所が応募した。15本の桜の木を植栽するものである。

町長 植栽後の手入れについては、応募した時点で花をつけるまでは育てるといいう気持ちで見守って頂きたい。

水道事業特別会計補正予算

菅原道雄議員 栗谷沢橋架け替えの付帯事業だが、今年度中に完成するののか。

建設課長 県とも協議の上で年度内、3月には完成する。

（その他の議案）

- ◆町教育委員の任命同意
- ◆役場の位置を定める条例改正
- ◆教育振興修学資金貸付基金条例改正
- ◆町後期高齢者医療に関する条例改正
- ◆役場新庁舎工事請負変更契約
- ◆町道詰田沢小又線雪崩防護柵設置工事請負契約
- ◆介護保険特別会計補正予算
- ◆人権擁護委員推薦に関する議会意見
- ◆（議員発議）
- ◆新型コロナウイルスの影響に伴う地方税財源の確保を求める意見書の提出

町政を問う 「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

（●印は要約して掲載しています）

1. 菅原 道雄 議員…………… P 6
●病院と福祉施設の水害対応は
2. 高橋 秀則 議員…………… P 6
●空き家の管理を徹底すべき
3. 平野 勝澄 議員…………… P 6
●感染症流行時の防疫目的検査の充実を
4. 外山 正利 議員…………… P 8
●ポストコロナの企業誘致・移住・定住を取り組むべき
5. 佐藤 成子 議員…………… P 8
●障がい者雇用促進への取組みは
6. 佐藤 栄子 議員…………… P 8
●地域医療と新県立新庄病院との連携は

病院と福祉施設の水害対応は

町長

■毎年避難訓練を実施している



菅原 道雄 議員

議員 水害想定区域にある病院と福祉施設の災害対応と、町内外の病院や福祉施設との連携は。

町長 一帯の浸水想定深は3〜5mであることから、来院・来所者は災害発生予測段階でお帰りいただき、入院・入所者は施設2階に留まることを周知する。他施設との連携は、病院は、救急医療情報システムにより患者転

送などの要請を行うことが可能である。悠悠は、最北地区施設長連絡会に防災ネットワークが構築されており、相互の応援体制が定められている。災害発生時を想定した訓練を定期的に実施し、施設利用者の安全確保に努める。

議員 避難所での過密、新型コロナウイルス感染症対策は十分か。

町長 避難所の過密状態を避けるため、安全な親戚宅等への避難や、マスク、体温計を持参することなどを盛り込んだ防災ハンドブックを6月に全戸配布した。

空き家の管理を徹底するべき

町長

■町民が安心して暮らせるよう、対応していく



高橋 秀則 議員

議員 空き家を購入した方のモラルが地域住民に不安を与えている事例が町内数ヶ所で発生している。町として対応を考えているのか。

町長 空き家を購入した方のモラルや人間性が地域住民に不安を与えている事例が発生しているとのことですが、町外から転入された方への町の対応としては、手続きのため町民課窓口にお越しした

だいたいに、ごみステーションについては、町内会で管理されていることなどをお知らせしている。今後とも区長会をはじめ、関係機関とさらに協力し、連携を深めながら、町民の皆様が安心して暮らせるよう、対応していく。

鳥獣被害の対策を強化

議員 最近、町内全域でイノシシの被害が多発している。増頭する前に駆除するべきではないか。

町長 イノシシの状況については、2〜3年前から当町でも目撃情報

が数件寄せられるようになり、昨年夏には内の沢地区や大谷地区などでサツマイモなどの農作物被害が発生したほか、八敷代地区や大滝地区でも頻繁に目撃されるようになった。町は、販売農家を対象とした有害鳥獣侵入防止柵の設置費用に

対する補助事業も用意している。

隣の宮城県では、官民一体となった地域ぐるみの侵入防止柵設置の取組みにより、鳥獣被害の減少を目指す取組み事例もあるので、先進事例に倣い、今後

も鳥獣被害対策について検討を進めていく。

感染症流行時の防疫目的検査の充実を

町長

■国・県とともに速やかに対策をとっていく



平野 勝澄 議員

議員 コロナ禍に関して、防疫、感染予防策としてのPCR検査の有効性が明らかとなりつつある。山形県は一旦は抑え込むことに成功しているが、今後の見通しは甘くない。万一県内、近隣市町村で感染者が発見された場合、特に学校、保育所・子ども園、医療機関、介護施設等、教育・医療・福祉関連事業所などで、直接当該施設で

の感染者が出ていなくても、積極的に検査を受けられる体制、必要に応じて複数回くり返し検査できる環境を、今のうちから、県・国と連携して構築すべきではないか。

町長 国は、8月28日の新型コロナウイルス感染症対策本部において、地域の医療機関で簡易・迅速に検査を行えるよう、抗原簡易キットによる検査を1日平均20万件程度に大幅に拡充するとともに、PCR検査や抗原定量検査の機器の整備を促進し、必要な検査体制を確保するとしている。

加えて、感染者が多数発生している地域やクラスターが発生している地域においては、医療機関、高齢者施設等に勤務する者、入院・入所者全員を対象に、いわば一斉・定期的な検査の実施を都道府県等に要請するとしている。

こうした動きを踏まえ、今後管内で感染者

が多数発生したなどの場合は、町内の医療機関や高齢者施設等での感染者がなくても、適切な検査を実施できるよう最上保健所と協議していく。町単独では限界があるので、最上保健所と協議しながら、国・県とともに各種感染症対策を速やかに実施していく。



8.6水害の際の浸水状況

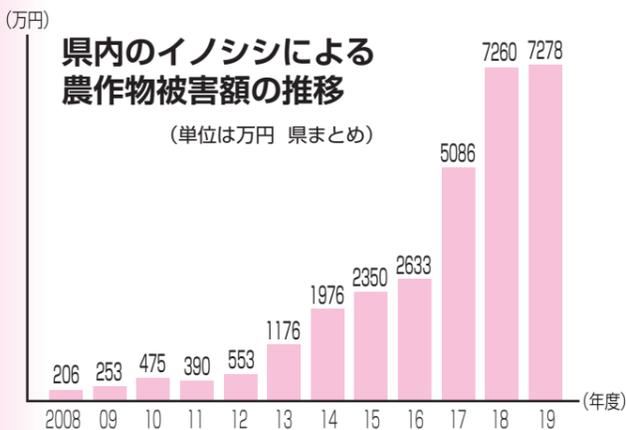
防災放送確認ダイヤル
0233-62-3388

●木材の歴史や森林トロッコ列車で観光資源の魅力アップを
町長 案内看板、パンフレット、ホームページなどで魅力を発信する

その他の質問

避難所備蓄品は、非接触型体温計、パーティション、消毒液など新たに購入し、担当職員

付けては。町長 Jアラートや県防災行政通信ネットワーク等との連携や、予算などの調査検討を行い、出来るだけ早期に整備する方向で検討している。



県内のイノシシによる農作物被害額の推移

(単位は万円 県まとめ)

□ポストコロナ真室川町へ企業誘致・移住・定住

町長

■県や関係団体との連携を図り推進する



外山 正利 議員

議員 東京一極集中の是正と・新型コロナウイルス対策で定着しつつある在宅・遠距離勤務など「リモートワーク」を支援し、地方移住や東京企業の地方移転やオフィスの開設などの動き踏まえ、政府の「まち・ひと・しごと創生基本方針」が示された。又東北中央高速道路の開通に伴ない仮称昭和インターの開設等予定されている。こ

□障がい者雇用促進への取り組みは

町長

■ご家族に寄り添いながら適切に支援していく



佐藤 成子 議員

議員 義務教育を終えた後の進路指導状況は教育長 進路指導、進路決定に当たっては、切れ目のない支援の中で保護者との関係性を大切にし、進学先に対しても支援計画の引継ぎを行いながら取り組んでいる。議員 農業・福祉の連携の実績と今後の方向性は。町長 農福連携は、農業分野の労働力確保に

□地域医療と令和5年開業のあたらしい県立新庄病院との連携は

町長

■2次医療圏の中で、地域医療の推進に努めて行く



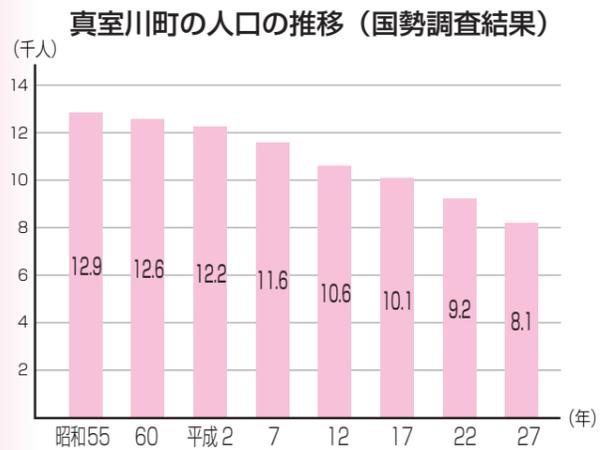
佐藤 栄子 議員

議員 新庄病院と町立病院の現在の役割は何か。町長 当病院にない診療科、実施することができない治療や手術、検査等に県立新庄病院を紹介し、県立新庄病院での急性期の治療が終わった回復期の患者を受け入れる体制を構築している。議員 新型コロナウイルス感染者受け入れは。町長 県立新庄病院で

まわろがわ「議会だより」9月定例会 No.152

高校卒業予定者の内、県内での就職を希望している生徒の割合は80%が県内での就職を希望している事、新型コロナウイルスの拡大で首都圏など避ける傾向が見られる。人口減少対策については今までも議論はあったがこれと言った決

め手がないまま推移しているのが現状だ。政府方針に沿った方向で移住・定住政策を具体的に取組むべき。町長 6月からコロナ禍で経済的に大きな影響を受けている町出身の大学生に対して地場食品を提供する「大学生等への支援事業」を実施し将来的なUターンに繋げて行く。



真室川町の人口の推移 (国勢調査結果)



福祉事業所の作業の様子

携、若者たちの就労への取り組みは。町長 当事者や家族などから就労希望の相談を受けた際には、福祉課窓口での相談支援に加え「最上障害者就業・生活支援センター」と連携し、就業と生活の両面から支援してい

るところである。他市町村やハローワーク、特別支援学校等との関係機関との取り組みを有効に活用し、障がい者本人だけではなく、ご家族にも寄り添いながら引き続き支援していく。



県立新庄病院の新築予想図 (山形県病院事業局のホームページより)

325床、診療科の予定が27診療科、うち新しい診療科9科と総合患者センターが新設され今まで以上に機能強化される。議員 SDGs (持続可能な開発目標) 県民運動に向け、当町の考えはどうか。町長 概念が知られる以前から町づくりに生かされており将来の世

代へと引き継がれ行くことを重視している。議員 当町の企業や林業農業での取り組みについてはどうか。町長 企業も2社あり環境負荷の少ない耕畜連携の有機栽培や、森林の持続的利活用がされており、総合計画や教育にも生かされてゆ

第2回臨時会

会期：8月19日

コロナ対策などで合計約3億円の補正

公共施設トイレ等改修を中心に、各種支援金・給付金も追加

第2回臨時会は、8月19日に開かれ、町長提出案件の新型コロナウイルス感染症対策関連各会計補正予算5議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算

2億7050万円を追加

【コンビニ収納】高橋秀則議員 手数料はどうなっているか。負担する町として大きな減収になる恐れはないか。

【特別定額給付金】佐藤栄子議員 町単独

の特別定額給付金の内容は。

【トイレ改修工事】佐藤成子議員 工事の内容は。

【プレミアム商品券】菅原道雄議員 プレミアム率50%ということ、郡内でも率の高い

【新庁舎建設】佐藤正議員 地下からの湧水による工法変更

3000組というところで一世帯1セットというような想定なのか。

【テレワーク用パソコン購入】外山正利議員 運用はどのようになっているか。

【退職者支援給付金】大友又治議員 今の情勢ではもうちょっと増

【非接触型検温系】佐藤一廣議員 ピストル型や設置型などいろいろなものがある。それぞれ

湧水のあった場所は付属棟の都市下水路の近くである。

【企業課長】報道によれば県内で326人ほどの対象者とされている。厚労省の発表で市町村別までは把握できないことから、町としては

【総務課長】庁舎の感染を想定し、ヘルスケアセンター、中央公民館、各総合施設を代替施設として業務を行う想定

【総務課長】額に当てるタイプはこれまでも相当数購入している。今回は、スマートホンタイプの画面で検知をし、ある程度の熱が出た方にはアラームでお知らせする機能のもの。設置場所は限定せず、イ

【総務課長】額に当てるタイプはこれまでも相当数購入している。今回は、スマートホンタイプの画面で検知をし、ある程度の熱が出た方にはアラームでお知らせする機能のもの。設置場所は限定せず、イ

町教育関係者との懇談会

◇7月14日(火) 議会では、例年、町教育関係者(教育委員、小中学校校長・教頭、教育委員会事務局)との懇談会を開催しております。

今年度のテーマ「学校でのふるさと学習の取組みについて」平成31年2月に策定された町の教育行政全体の課題に対応するための5カ年計画である「真室川町教育振興計画」が2年度目に入りました。

この計画に基づき、各保育所、こども園、各小学校や中学校ではそれぞれが計画的に「ひと」「もの」「こと」などを活用した体験的な活動や学習を行って郷土愛を育て、1年度目の取組みや成果などを紹介いただきました。

また、大人が地域の魅力を再発見するため「真室川スタディツアー」の取組みとその成果や、今年度は、コロナ禍に対応するためのオンライン上での実施を工夫していることなどが報告されて意見が交わされ、教育行政に関する理解を深める良い機会となりました。



議会のうごき

令和2年7月～10月

- 7月2日(木)～3日(金) 産業福祉常任委員会所管事務調査
- 14日(火) 令和2年度町教育懇談会
- 3日(月) 山形県町村議会議長会臨時総会
- 8月3日(月)～4日(火) 総務文教常任委員会所管事務調査
- 7日(金) 議会改革調査特別委員会公聴会
- 17日(月) 町議会運営委員会、全員協議会
- 19日(水) 町議会第2回臨時会
- 27日(木) 町議会運営委員会、全員協議会
- 9月3日(木)～9日(水) 町議会第3回定例会
- 23日(水) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会、全員協議会
- 29日(火) 町連合婦人会との交流会
- 10月2日(金) 最上広域市町村圏事務組合定例会
- 2日(金) 最上地方町村議会議長会、最上市町村議会議長会
- 7日(水) 町ランドゴルフ協会との交流会
- 12日(月) 最上県勢懇話会
- 19日(月) 最上地区広域連合議会運営委員会、全員協議会
- 20日(火) 町議員研修会
- 26日(月) 県・市町村行政懇談会
- 27日(火) 最上地区広域連合定例会

○議会報告会 (10月22日(木)、23日(金)、26日(月)、27日(火)、30日(金))

中止・自粛の日程

- 常任委員会県外先進地視察研修 (中止)
- 全国町村議会議長・副議長研修会 (動画受講)
- 山形・秋田・岩手3県合同中央研修 (中止)
- 村山・庄内・最上地方町村議会合同研修会 (中止)
- 置賜・最上地方町村議会合同研修 (中止)
- 町村議会広報研修会 (延期)
- 町村議会パネルディスカッション (延期)

○議会広報常任委員会の開催 (9/25、10/2、10/9、10/15)

町立病院事業特別会計補正予算 収益的収支に136

国保特別会計補正予算 380万円を追加

ベント、公共施設両方で計5台分を計上している。また、保育所・こども園でも同じタイプのものを購入する計画があり、そちらも補助する。

水道事業特別会計補正予算

収益的収支に150万円を追加

梅里苑事業特別会計補正予算

970万円を追加

意見書を提出

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」

※新型コロナウイルス感染症の拡大により国民生活への不安が続いております。行財政サービスを安定・持続的に提供していくため地方税財源の確保・充実に政府に求めるため意見書を提出しました。

【提出先】

- ・衆参両院議長・内閣総理大臣
- ・財務大臣・総務大臣他

みんなで議会傍聴

真室川中学校3年生



9月定例会、決算特別委員会を真室川中学校3年生56名(欠席1)が傍聴しました。今年は感染防止のため、ソーシャルディスタンスを保ち、一度に議場に入る人数を管理しながらの傍聴でした。一部抜粋して紹介します。

伊東 敦士さん
学校の生徒総会より質疑応答が早いし、展開がすごかった。反論もあり、活発な話し合いがなされていると感じました。真校や英検についてのことも話し合われていて、僕たちにも関わりがあるんだなあと思いました。

大場 渚砂さん
町のために30人近くの人達が真剣に話し合っていてすごいと思いました。何より、ふるさと学習のことを議題に出してくださったのがとてもうれしかったです。そして、議論されていた大人の人達が、しっかりと子どものことを考えてくださっていたので、それに応えられるように生活していきたいです。

小松 彩加さん
分厚い資料を基に話し合われていて、生徒総会に似ていると感じる一方、どこが違うようにも感じました。傍聴の感想として、たのしかったのですが、理解が難しい場面もあり、わかりやすく説明すべきだとも考えました。また、せっかく傍聴の場が開かれているのだから、もう少し町民が聞きに行くべきだとも考えたり、町民が聞いて分かるようにしてほしいとも思いました。

小島 なつさん
難しくよくわからない場面もありましたが、真室川のことについてすごく考えていて、すごく大切な会議だと思いました。

佐藤 冬馬さん
町のことについて知らなかったことを話していたし、意外と町民に近い話をしていてびっくりしました。僕は普通に町で暮らしてきたけど、このような話し合いがあったから、町で健やかに今でも暮らせるんだなあと思いました。

柿崎 大河さん
1つの議題に対する答弁が長く、みんな真剣に丁寧に話し合っていました。僕たちが触れることのない所で、多くの人達ががんばっている様子を見て、知ることができました。質問している人たちはどんな基準で決められているのかや、議長は他にもいるんだろうかなど、気になったことがいくつかあるので、公民で学んでいきたいです。
議会からのコメント
今回傍聴していただいたのは決算特別委員会でした。この委員会では、議員のうち、議長と議会選出監査委員は質疑をしないままです。本会議では議長が、各種委員会では委員長が進行を司ります。授業でも先生にいろいろ聞いてみて下さい。

佐藤陽日希さん
課長たちが議員の質問に対して臨機応変に対応していてすごいと思った。来年度に向けての案も出ている、町民や町のことを考えてくださっていることに感動しました。町の政治について、初めて知った取り組みなどもあり、良いところは続けて欲しいし、もっと真室川の良さを知ってもらえるようなPRも必要だと思いました。オンラインでのスタディツアーはとても良い取り組みだと思いました。

渡部 睦月さん
町議会なので、やはり町の人口や財政に関わる質疑が多かった印象でした。流れるような質疑応答で、質問も応答も、既に考えてあったことなんだろうかと気になりました。また、発言の撤回なども認められるのかな、と考えました。
議会からのコメント
特別委員会の質疑は通告なしです。答弁する執行部側はその場で正確な回答をしなければならぬため、膨大な資料を用意し、念入りに準備しています。それでも即答が難しい時は、一旦留保して後で回答することもできます。発言の撤回や訂正も認められています。絶対に間違いを起こさない人間はいませんので、過ちがあれば認めて、きちんと正すことが大切です。

高橋 花音さん
意見や質問に対して、担当の課の人が答えているのがわかった。
質問に答える人はとても細かく答えていた。普段体験できない貴重な機会でした。すごく内容の濃い話し合いで、ほとんど何を話しているのかわからなかったけれど、大体の話の進め方は理解できました。議員さんや、役場の方の大変さを感じながら、こういう仕事をしているんだなあとわかりました。

高橋 怜奈さん
1回の答弁で結果と課題、解決するための手段を簡潔にまとめて返していた。それに対してさらに詳しく問い返しをすることで、議論が深まっていく様子だった。
とても貴重な体験でした。大人の方々が真室川町の今後について真剣に話し合っているのを見て、少し格好良かったです。幅広い範囲のことについて議論されていて、頭が追いつかなかったですが、今の真室川を良くしていきたいというのはすごく伝わってきました。

佐藤 佳雄さん
1つの質問でやり取りが繰り返され、思ったより長く続き、質問によって答える人も変わること気がつきました。
町議会でのように真室川を動かしているのがわかりました。

梁瀬 健太さん
決算だったからか、お金の話が多い印象でした。思っていたより大きな額が動いていたことに驚きました。町の運営のために使うものなので、これだけ多額なんだろうと考えました。普段の僕たちは、ただ学校に来て、学び、帰って寝る、という1日を過ごしていますが、僕たちのそうした日常の裏では、こういう人たちが動いているからこそ「普通の生活」なんだと知り、そのありがたみをもちたいと考えました。

山田 有美さん
質疑に対して詳しく応答していてすごいと思いました。細かく確認することで、質疑した人だけではなく、聞いている側もすごくわかりやすかったですし、理解することができました。
町の政治について考えたこととして、議員どうして話し合いで案を出すのもいいけれど、町民の意見を広く取り入れて欲しいとも思いました。その方が、より町民に寄り添った案が出ると思えました。

栗田 葵さん
中学校や小学校など聞きなれた話題なども提示されていて、わりと議会に集中することができました。ふるさとと給食の日は欠席が少なく聞いてくれるさと物を使い、もっと学生にまわるがわの魅力を感じてもらうだけでなく、そういうメリッともあるんだなと知ることができました。より良い生活を行うために、真室川のためにすごく考えられていることが分かりました。

五十嵐悠乃さん
議員が出した様々な質問に対し、執行部がすぐさま臨機応変に対応して応えるというのがすごいなと思いました。より良い町づくりのために議員さんたちが真剣に話し合っているのを見て本当にありがたいし、いつも感謝したいと思いました。

井上 友花さん
町をより良くしようと私たちからは見えないところで一生懸命話し合いをしていた。小中学校や病院など私たちの身の回りのことを話していて、私たちが気付かないところで良くなっていると思いました。

定数、報酬改定への意見 賛否両論

9月定例会後も、引き続き議論

議会改革調査特別委員会が3月～4月にかけて実施した「真室川町議会に関するアンケート」の結果、および8月7日に実施した公聴会で出されたご意見を抜粋して紹介します。

議会改革調査特別委員会では、来年3月に行われる町議会議員選挙に向け、特に定数と報酬を中心に、今後の議会のあり方を検討しています。前回選挙が無投票となったことや、県内でも定数割れする自治体が増えてきている現状を受け、若い町民が積極的に手を挙げられるよう、条件を整えていく考えです。

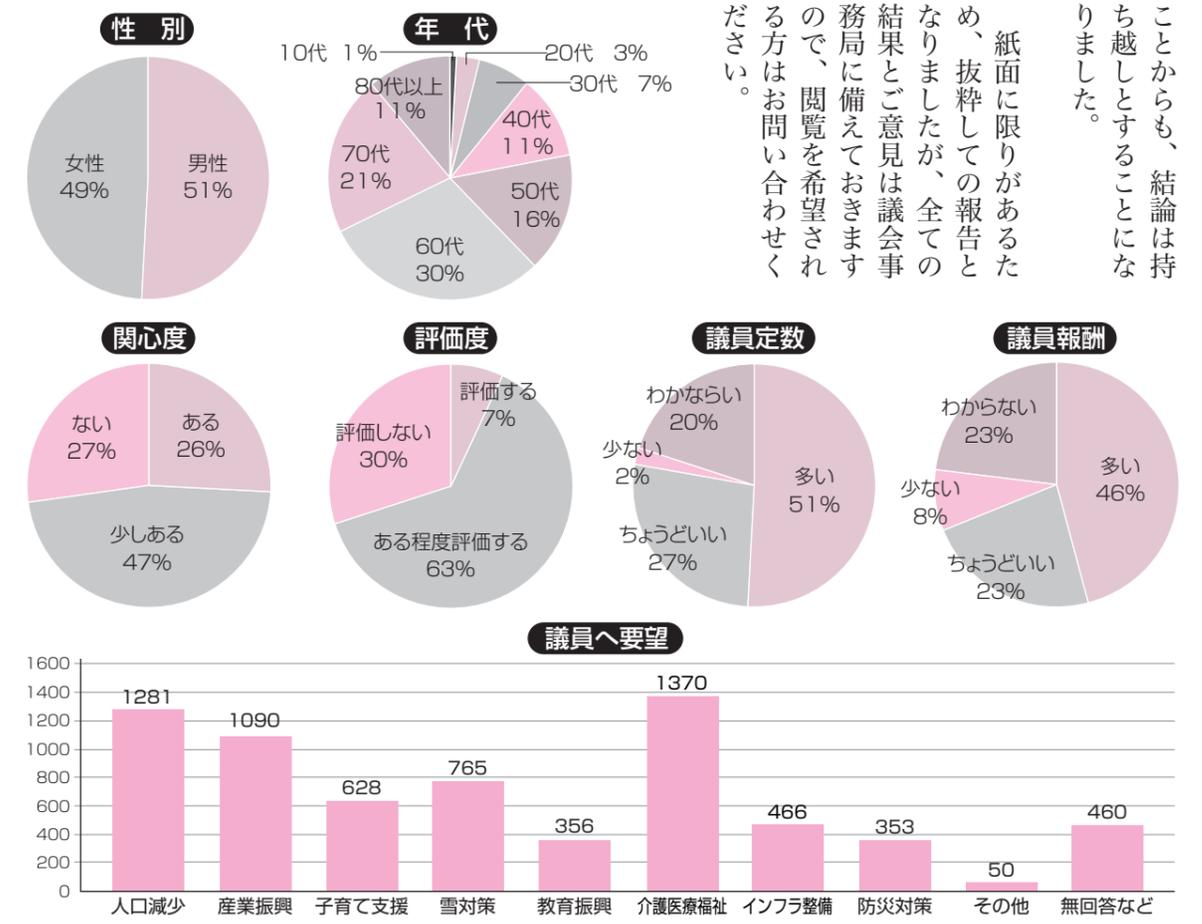
アンケート結果
アンケートには前号でお知らせした通り2273人、人口比で34・93%の方から回答をいただきました。下記グラフのように、男女ほぼ同数、年齢別に見ると60代以上がおおよそ

2/3という結果でした。また、定数、報酬ともに現状を「多い」と考えている方が半数前後だったことが特徴です。

公聴会結果
次ページに公聴会で出された意見を抜粋して載せています。ここでは、アンケート結果とはまた違った観点からの意見も出ています。

9月定例会中に開かれた委員会で、アンケート、公聴会両部会の結果を受けて、全委員から定数、報酬についての意見表明が行われた結果、意見の一致を見ることは出来ず、慎重な議論が求められる

ことから、結論は持ち越しとすることにしました。
紙面に限りがあるため、抜粋しての報告となりましたが、全ての結果とご意見は議会事務局に備えておきますので、閲覧を希望される方はお問い合わせください。



公聴会で出された意見(抜粋)

●議員の活動など

●町長や議員さんなど町のトップに立つ人には「住民参加」という視点が重要であり、求められるものではないか。
●派遣切りに遭い、仕事をしていない住民から相談を受けるなど、区長の仕事は大変だ。議員の仕事も大変だろうが、もう少し町内を回って実態を勉強してもらいたい。

●特に独身の若い方は、町が何をしているか、議会がどういう活動をしているか知らない世代だと思う。そもそも興味

がない。議員のなり手を増やすには、興味を持ってもらうための広報をしなければならぬと思う。

●議員の1日の流れの細かいところがよく見えてこない。議会報に掲載してみればどうか。活動がわかれば考えも増えてきて、自分の意見が生まれてくる。

●高校生は、地元企業にインターンシップに行っているという話を聞いた。議会でも学校教育においてもつと啓発活動をすれば、議会理解につながる魅力を感じるのではないかと

●定数について

●人口が減っているのに議員の割合がここ何年か減っていないので、定数は減らした方がいい。

●県内の議員の割合は、だいたい人口800人に1人の状況のようだ。議員が多ければ、いろんな情報が提供してもらえるだろうし、定数はこだわるものではない。

●報酬はある程度多くしてもいいが、定数は減らした方がいい。今、1人欠員になつていて、欠員のままでいい。議員は選挙の年4年に1回まわってくるが、その後は1回もまわってこないとの話もある。

●報酬について

●人口を増やし、税収を上げ、財源をつくらないと議員の報酬は上げられない。根本的な人口を増やすということを考えていかないといい。

●昔から議員は片手間だという人もいますが、そういう時代ではない。一つの職業として考えるべき。それ相応の人件費を考へなければならぬ。

●何か役場をお願いする時は、区長を通してというのがほとんどである。何か相談されれば、4回も5回も役場に足を運ぶが、これに係る年収は少ない。これか

ら見れば議員報酬は今のままでいい。
●前回報酬額を改定した平成8年度から見れば、20年以上が経ち人件費も上がっているし、それよりも物価が上がっている。平成8年からは倍になっている。若い世代から見れば、議員になる魅力がない。

●本業を持っていて片手間ではやるような活動ではない。若い人がやるのであれば、家族も養って本業でできるような報酬を払ってほしい。



真室川中学校3年生の声

山田 有美さん

議場に入った際に、とても緊張感があり、議員や役場の方々の様子から、町のことを真剣に考えている想いが伝わってきました。議題は、スタディーツアーや学校図書など、私たち学生の世代から高齢の世代まで、幅広く町民全員のことを考えたものばかりでした。話し合いは、私たちがしている生徒総会と少し似ていて、一人の議員さんが30分の持ち時間の中で質疑をし、それに対して役場の方が応答をする、といった流れのようでした。普段私たちがしている生徒総会の方が、本物の議会に似せているのかな、と考えました。私は、スタディーツアーの目的や現状など、具体的な数値も踏まえながら詳しい説明をしている役場の方の姿が印象に残りました。また、より町民に寄り添った答えを出そうと考え、協議し、実行に移そうとする議員の方々の姿をみて、頼もしく感じました。

今は、まわりの大人や町を引っ張ってくださっている町長や、それを支える役場の方々、町民を代表して声を上げてくださる議員の方々、に任せてばかりだけど、将来、町の担い手となる身として、今から町の魅力や課題を真摯に考え、発信していくことを大切にしたいです。

故郷に向き合う入り口として、今回の議会傍聴はとても貴重な体験になりました。

傍聴お待ちしております

● 次回の
定例会は

12月です

令和元年の本会議議事録は
町ホームページでもご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは

議会事務局まで

☎62-2111 (内線205)

お詫びと訂正

議会だよりNo.151(7月27日発行) 2ページの記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

スクールバス購入契約の締結

(誤) 及位地区は路線バスとなり川ノ内、関沢、栗谷沢がスクールバスの対象となる。

(正) 関沢、栗谷沢はこれまでと同様に路線バスの対応となる。

編集を終えて

「天高く馬肥ゆる秋」、黄金色の稲穂があたり一面色付き、九月の定例議会では、決算審査を終えることが出来ました。去る、九月十六日には第九十九代首相に菅義偉首相が選出されたところです。

今年の一月から発生した新型コロナウイルス感染症について、当町では感染者が出ていませんが、影響のあった関係先においては、国・県・町連携の支援にて対応を行っているところです。まだまだ元に戻るには時間が必要とされませんが、新しい生活様式で少しずつ前に進み始めているところでもあります。何かお気づきになりましたらお知らせください。(佐藤 栄子)

議会広報常任委員会

委員長	平野 勝澄
副委員長	佐藤 栄子
委員	佐藤 正
委員	佐藤 成子
委員	高橋 秀則